

Moi MÊME

「モアメйм」とはフランス語で自分自身の意味です。

第23号
2022年3月



C O N T E N T S

- 男女共同参画週間事業
「パパになった旦那よ、ママの本音を聞け!」..... 1～2
- シングルマザーズ・カフェから見てきたもの..... 3～4
- 女性のための健康講座 ～生涯をとおして元気で快適に 5
- 平和の鐘カリヨン「ヒラリヨン」をパープルライトアップ
ウィル図書コーナーから 6

パパになった旦那よ、 ママの本音を聞け!

よりよい夫婦関係を育てるコミュニケーションのヒケツ
(動画配信・動画上映会)



放送作家 野々村 友紀子さん

こんにちは。野々村友紀子と申します。普段は私、放送作家で、最近はテレビに出させていただいたりとかもしておりますが、もともとは芸人をしておりました。夫は2丁拳銃の修士です。今日は私の著書『パパになった旦那よ、ママの本音を聞け!』(赤ちゃんとママ社)をもとに「よりよい夫婦関係を育てるコミュニケーションのヒケツ」をテーマにお話をします。でも、「聞け!」と言うだけではよくなくて、育児も家事も夫婦の仲の良さで協力して乗り越えていくもので、そのところもお話します。

まずね、共感してもらえるんじゃないかなと思うのはこれですね。「パス禁止! ラク泥棒すな!」。

例えば、おむつ替えですよ。「おむつ替えのおしっこは替えれるけどうんちは替えられへんよ」って言う。「ママ、おしっこやからやるわ」「うんちやからママどうぞ」というこのパス。「やっぱりママのほうが上手やね」って言うけど、ママだって最初から上手やったわけじゃないですから。努力して努力して、手探りで何もわからん状態から、そこから上手になっただけやから、パパもそこは努力して上手になってほしい。だから「パス禁止! ラク泥棒すな!」。楽なとこだけ持っていったってイクメンぶるのは絶対あかんってことです。

次、「言われなくても早く帰ってこい!」。これなんです。パパは「今日早く帰ったほうがいい?」とか聞いてくるんですよ。ん?どうということ?早く帰ってこなくていい日なんかなくてことなんですけど、子育て中はね。早く帰ってきてくれるパパっていうのは、それだけでヒーロー。それをパパにはわかってほしい。

次、「スマホより、子ども見ろ!」。公園とかでもいますね。パパが子ども連れてきて、すべり台でも遊ばせて、だんだん慣れてきたらパパはスマホ見だすみたいなね。けがとかしたらあかんから、お母さんは絶対に子どもから目を離さへんとか、手を離さんようにして外でも歩いています

けど。

子どもは、赤ちゃんなんか特に、毎日ちよつとずつ成長して、今日はこれやってたけど、明日は違うことができるようになってとかいうのがどんどん増えていって楽しい時期ですから。成長しきったら向こうがこっち見てくれへんようになってきますから、そうなってから「もっと見といたらよかったな」ってなるよりは、「絶対、今、子ども見といたほうがいいよ」って言ってあげてください。

「キレイなママでいさせて!」。これもパパに言いたいことです。みんなきれいなママでいたいんですよ。たまに「最近ゆっくり美容院とか買い物とか行ってへんやろ。服買いに行ったりとか、自分の身の回りのことやってないんやったら、俺見とくから行っといで」ってこの一言をもらえるだけで、めちゃくちゃ嬉しい。きれいなママでいさせるのはあなた次第、ということ覚えておいてほしいですね。

そして、これです。「忘れちゃいけない大事な3つ。共感・協力・共有」。ママにもパパにも言いたいことです。著書『パパになった旦那よ、ママの本音を聞け!』から少し読ませてもらいます。

「夫婦となり、人の親となった私たちは忘れてはいけません。子育ての大変さ、難しさ、楽しさを夫婦で共感し、困難なときは夫婦で協力して乗り越える」。これです、共感と協力ですね。「子どもの笑顔が咲くたびに、湧き上がる温かい気持ち。子どもの成長を感じたときの涙が出そうになる喜び。小さな命の大きな尊さ。枯れることのない深い愛情。子どもに関するそのすべてを、できるだけ夫婦で共有しましょう。私たち夫婦だけが感じられる大切な3つ。」この3つですからね。このかけがえのない日々を手を取り合い、ともに歩んでいきましょう。

幸せな家庭を築く夫婦のコミュニケーション」。次は夫婦で家事をうまくシェアすること。これが一番です。

女の人も今、社会進出どんどんして、男の人と同じよう

な仕事やってたりとか拘束される時間も長かったりとかして、くったくたになってるのに、帰ってきて洗濯機を回しながら、ご飯を作る、帰りも買い物袋一杯持って帰ってきてというのが大変なのは奥さんのほうが多い。

私たち夫婦も主に家事が原因でけんかをしていました。それで、自分が思いつく、自分がやってる家事をパソコンに打って打って、家事もしないで書き出してみました。それが「夫が知らない家事リスト162項目」。洗面所の掃除、洗濯だけでもたくさん項目あります。料理とかも、お母さんなんか特に、ずっと晩ご飯何しようっていうコンピューターが一年中回ってるんですよ。仕事してても「今日晩ご飯何しょ?」っていうのが、どこかにあるんです。子どもの給食も頭に入れて、「今日、給食でカレーって言ってたから、カレーにしたかったけど肉じゃがにせなあかんわ」とかね、冷蔵庫の中身まで考えてやってるんです。それをやって、料理するまでに買い物もありますから、一言で「料理」って言わないでほしい。

家事がこれだけあるっていうのがまずわかって、そこからいろんなことを私も旦那に教えていきました。

まず「日々の生活に欠かせないのに影が薄い、交換系家事!」。トイレトペーパーの芯の部分を、何のメッセージかわからんけど、置いてますよね。「これなんや?よく見るけどなんや?」ってやつですね。あとなんか知らんけど、ちょっと残して「僕が使い切ってませんよ」みたいな。10センチくらい残すんやったら全部使い切ってくれよ。全部使い切って、新しいの入れるだけやねんから、これくらいやってくれと。いろんなもの交換して主婦は生きてますから。こういうのも家事です。勝手に替わってると思わんとってほしい。

「旅行やお出かけ、準備家事」。子どもが出先で何するのかっていうことを、ママはめちゃくちゃ想定して、おむつとか、着替えとか、水着とか、タオルとかどんどん荷物増えていくんですよ。それをママは自分も化粧ちゃんとしたいけどやってんねんから、そこは一緒に手伝ってほしい。そして帰ってきたときですよ。パパなんか「帰ってきたわー」言うて寝転がってますわ。お土産買うのもママがリスト作ってね。

そういう大変なことがいっぱいありますので、こういうのを一緒にね、ママのほうもパパに教えないといけない。これだけの量があるねんできていうのを。これだけの量を背負って私たちは愚痴ってんねんっていうのをわかってくれたら、パパもちょっとは変わります。

最後にパパに言いたいのはこれです。「健康に気をつけて長生きしろ!」。結局、これが言いたい。最後だけでもいいことを言っておこうということですよ。

そして私たちは褒められなくてイライラもしますが、パパがやってくれたことにはちゃんと感謝して、やっぱり夫婦と一緒に乗り越えていくためには、私たちがあきらめたりとかしないこと。このような経験を経て、今は家事を修士くんも一緒にやってくれるようになって、すごく楽になりました。

そして、ママがこの3つだけはやったらだめだなんて思うことは「無理する」「分ける」「責める」。

「無理する」は、私たちが無理して全部やっちゃうこと。主婦の仕事やからやりますという感じでやっちゃう、これだめです。ちゃんと話し合わないといけない。

「分ける」のがだめっていうのは、例えば家事リスト162項目です。あれを1個ずつ「これはあなた、これは私」みたいに細かく分けたら絶対だめです。監視のし合いになって、ちょっとでもだめなところがあったらダメ出しになってしまうから。ダメ出ししだすと、旦那さんてすごくやる気なくすんですよ。「そんなんやったらもうやらへん」ってなっちゃう旦那さん多いので、そこは分けずに「できるほうがやろう」と、前向きに話し合う。

「責める」。これだめです。責めたらやる気なくなるのはお互い様ですよ。自分のやり方に旦那が言ってきたらこっちも腹立つから、ここは責めない。「無理する」「分ける」「責める」はやめて、褒めて、一緒に感謝して、一緒にやろうねって2人でできるようにしていけたら、家事も楽しくなって夫婦のコミュニケーションもいろいろ取れると思います。

楽しい夫婦生活、楽しい家庭をつくって「母はハハハ、家庭の太陽」、私はこれをいつも心に刻んでおります。お母さんが笑ってたら、家庭は太陽みたいに輝いて、しあわせな家庭になると思いますので、笑ってられるように、夫婦で話し合いを重ねてみてください。



パパになった旦那よ、ママの本音を聞け!
野々村友紀子著(赤ちゃん和妈妈社)



夫が知らない家事リスト
野々村友紀子著(双葉社)

※令和4年(2022年)2月に動画配信した講演会の一部をご紹介します。
詳しくは野々村さんの著書をご覧ください。ウィルの図書情報
コーナーで所蔵しています。

シングルマザーズ・カフェから 見えてきたもの



ファシリテーター 坂田 恭子さん

ファミリーポートひらかた子育て支援スタッフ
CAPスペシャリスト(しまもとCAP所属)

シングルマザーズ・カフェは、シングルマザーや離婚を考えている人の交流の場として、平成18年度(2006年度)に始まりました。当初は「シングルマザーのお気軽ミーティング」として、平成25年度(2013年度)から「シングルマザーのお気軽サロン」、令和元年度(2019年度)から「シングルマザーズ・カフェ」と名称を変えながら、16年間続いてきました。

おしゃべりだけではなく、ひとり親制度の説明会や就労講座を併せて開催したり、時には、親子向けのイベント、アロマや折り紙の講座など、ゆったりとひとときを過ごしていただいたり。ファシリテーターや開催場所も変わる中で、これまでたくさんの方にご参加いただきました。

令和4年度(2022年度)からは、離婚前後の女性のための講座と統合し、新しい形で交流の場を設けます。

9年間、ファシリテーターを務めていただいた坂田恭子さんに、これまでのシングルマザーズ・カフェを振り返って、様子や感じられたことなどについて、寄稿いただきました。

(事務局)

ここは、同じ立場の人たちで支えあう「ピア・サポート」の場です。大切にしていることは、参加者も進行役も対等で尊重しあうこと、ここで話されたことは他では話さない(秘密保持)ことです。進行役の私の役目は、参加者の皆さんが安心して話せるように、雰囲気作りと時間の管理、ルールから外れたときの軌道修正などです。

離婚するのがよいのかどうか迷っている人、離婚をするために準備中の人、離婚ができてこれからの生き方を考えている人、数年シングルマザーで生きてきた人等、参加される方は様々です。そして、離婚を考えるに至った経緯も原因も様々です。

せっかくの機会をいただいたので、このシングルマザーズ・カフェに参加してくださった方たちの、話し合いの中でよく出ていた本音の話、気持ちをこの紙面をお借りしてお伝えしようと思います。(参加者の特定につながらないように複数の方の話をまとめています。)

●シングルで子育てしている仲間に出会いたい。

保育付きなので、子育ての事や仕事の事、親との関係等、気になることをあれこれ本音で話し合える場として毎回のように参加されていた人もいます。落ち込むこと、つらいこと、しんどいこともあるけれど、同じシングル同士だからこそ分かり合えることもあり、安心して話すことができたのだと思います。話すたびに気持ちの整理ができて、その繰り返しの中で、子どもと一緒に生きていく自分にとっての幸せな生き方を模索されていたようです。

●子どもが生まれて変わると期待したのに…

結婚したころは、お互いに仕事を持ち、生活費も分担して自由に生活を楽しんでいた。しかし、将来の生活設計については話し合いにならず、夫は自分の趣味等にはお金を使うのに貯蓄には協力しない。気がつく和生活を維持するために妻側の経済負担も精神的負担も増えた。子どもができれば変わるかもと期待したが、浪費癖は変わらず子どもとの生活のためにとという言葉は届かず、話し合いにもならず、離婚を決意した。「この人のために…」とか「私が頑張れば、夫は変わるはず」という思いは夫への愛情だと思っていたけれど、幻想だった。

こんな思いを抱えている方が多くいらっしゃいました。

●こんなことで離婚を考える自分はおかしいのかな？

夫は子どもとも遊んでくれて、何不自由なく見える暮らしをしているように見える。でも、ことあるごとに「お前が悪い」「ばかだ」「誰のおかげでこの生活ができていている」というようなことを言われる。長時間説教をされる。暴力があるわけではないが夫の感情のはけ口にされているようで耐えられない。誰かに言っても「どこかあなたにも落ち度があるのではないか」、「それぐらいうまく聞き流して過ごせばいい」と言われるので、やっぱり私の感じ方が悪いのかな？間違っているのかな？と困惑されている方もおられました。

気持ちや感じ方によいも悪いもなく、素直にどの気持ちも大事なものだと思われられて話すうちに、具体的にどんなことが嫌だったのか、何がしんどくさせていたのかが明確になります。また、夫と離れて生活してみて、心穏やかに過ごしていることに気づいたと言われます。心が落ち着いてこそ、夫婦の関係性についてもゆっくり見直すことができたそうです。そして子ども(幼児)も以前は関係性のよくない両親の前でいい子だったけど遠慮をしていたのかもしれない。今の方がのびのびとしていて、いい意味でわがままになっていると言われます。

●調停は戦いの場！

調停は、調停員が仲介してくれるので円満にスムーズに離婚ができるのかな？というイメージがあります。経験された方の話では、何よりも気力が相当にいるということです。調停中は、夫と直接話し合わないよう配慮されます。しかし、嫌な思いをしたこと、つらい体験を思い出してどんなことが起きていたかを言葉にするのはつらい作業です。そのうえ、相手からはこれでもか！というほど非難の言葉が来ます。それに対応して相手を非難することになります。非難の応酬を長期にわたって続けていると、自分が非道な人間になった気がして精神的に参ると話されていました。だから費用はかかっても弁護士さんをお願いして、一緒に戦略を考えてもらった方がよいそうです。すべて思い通りの結果を得ることは難しくても、権利として主張できることは主張していくことが大事だと思います。そのためにはひとりで戦うのではなく、専門家の助けや家族や仲間の助けを借りることが必要です。

●養育費と面会交流

夫から養育費を払うから父親としての権利として、月に1回程度面会することを要求されることが多いようです。夫とはとても嫌な思いをしているので会いたくない、ともに過ごしたくないが子どもだけを預けてしまうのは心配なので、面会の時についていくという人もいます。面会のことで連絡が来ることも、その態度などから圧力を感じてしんどいそうです。第三者の人がいる安全な面会交流の場を提供しているNPO法人などもありますが、費用が発生す

るので、利用するのは経済的に難しい現状があるようです。

また、滞りがちな養育費のために連絡を取ることが必要になったり、夫が新しく家族を持つので養育費が減らされたり、そしていつの間にか払われなくなるケースもよく聞きます。

●お父さんのことを聞かれたらどう伝える？

・赤ちゃんの頃に別れて父親の存在を知らない場合

お父さんがいないことは、かわいそうなことと思ってほしくない。子どもが将来家族を築いていくときに悪い影響を与えるようなことは避けたい。そんな思いを抱えて、話し合っていました。実際にお父さんのことを聞かれた時に、お母さんはドキドキしながら話をしたそうですが、意外と子どもは「そうなんだ」と拍子抜けするぐらい事実を淡々と受け止めていたそうです。

・子どもが幼児で父の存在を知っていて離婚、または別居した場合

子どもはお父さんのことを聞いてこないけど、あまり笑わず元気がない様子で心配なので、今の状況をどう話したらいいか？と考える人もおられました。お父さんとお母さんが仲良くできなかったこと

とお父さんに会いたいなら会えることを伝えるとホッとしたり、それからはお父さんのことも口にするようになり表情も明るくなったそうです。

どちらの場合も、子どもが知りたいと思っている気持ちに、理解できる言葉で答えられることが大事なのだと思います。

この会に参加される方は、子どもも自分も幸せになっていくためにどうすればよいのかを一生懸命考えている人たちです。皆さんの話を聞かせてもらい、私の「あたりまえ」や「こうあるべき」をとらえなおし、一人ひとりの考え方、感じ方をそのまま受け止め、一緒に考えていくことでつながっていきたいと思っています。



「ひとり親家庭相談支援センター」(サンプラザ3号館4階)では、ひとり親の方やこれからひとり親になるかもしれない方への支援や制度案内を行っています。
平日 午前9時～午後5時30分 電話 050-7102-3227
FAX 072-846-7952

女性のための健康講座

生涯をととして元気で快適に



講師
のだ女性クリニック院長
野田穂寿美さん



働く女子の不調と健康管理

働く女性が抱える健康の悩みは、社会経済全体のロスにつながっています。多くの女性が経験するPMS(月経前症候群)を和らげる治療にはさまざまな選択肢があります。



すこやかなポスト更年期を過ごすために

加齢による女性ホルモンの分泌減少・骨盤底の筋力の低下により、デリケートゾーンの皮膚症状や臓器の下垂などが起こることがあります。年齢を理由に我慢せず受診して、すこやかな毎を送りましょう。



どうかガマンしすぎないで...

大昔から、女性は特有の心身の不調に耐えてきました。でも、もう我慢しなくてもいいのです。治療法・ケアの方法はどんどん進歩しています。生涯をととして、快適で元気な毎日を過ごしたいですね。

年齢を重ねるとともに、女性の健康には節目がおとずれます。元気で快適な毎を送るためには、それぞれの節目の中で遭遇する女性特有の疾患や健康トラブルについて学び、セルフケアや治療への理解を深めることが大切です。今年度は、枚方市と包括連携協定を結んでいる大塚製薬株式会社との共催で、地域の女性のかかりつけ医として活躍されている野田穂寿美医師を講師にお迎えし、2月1日から3月15日まで「女性のための健康講座」として4本の動画を配信しました。



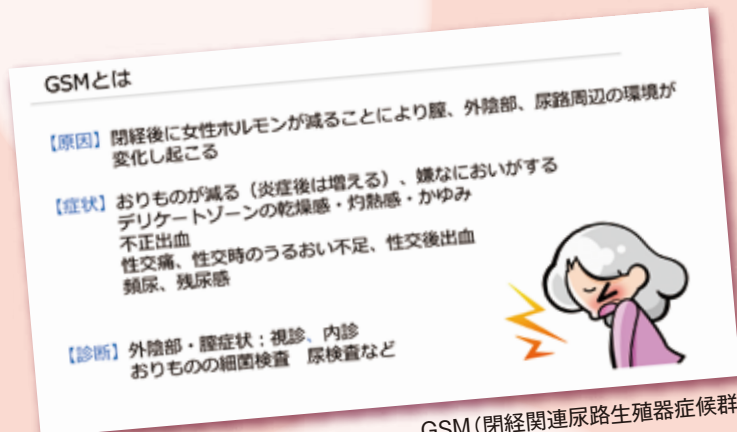
思春期女子の月経トラブル解決法

思春期は、心も体も成長するおとなへの入り口。初潮を迎え、月経に伴うさまざまな悩みを抱えるときでもあります。月経について知り、トラブル解消法を学ぶことでラクになることもあります。



ツライ更年期の乗り越え方

閉経に伴う更年期障害は、個人差が大きく、その人の性格や環境による要因もあると言われています。セルフケアと適切な治療で、ツライ時期を乗り越えていきましょう。



GSM(閉経関連尿路生殖器症候群)

平和の鐘カリヨン「ヒラリヨン」を パープルライトアップ

毎年11月12日から11月25日(女性に対する暴力撤廃国際日)までの2週間は「女性に対する暴力をなくす運動」期間です。

暴力は、親しい間柄であっても、どんな場合であっても、決して許されるものではありません。特に配偶者からの暴力、性犯罪・性暴力、ストーカー行為、売買春、人身取引、セクシュアルハラスメント等、女性に対する暴力は、重大な人権侵害です。

世界を暴力の被害者にとって安全なものとすることを目指して、紫色をシンボルカラーとした「パープルリボンプロジェクト」がアメリカで始まり、今では世界40か国以上に広がっています。「女性に対する暴力をなくす運動」の期間には、その取り組みのひとつとして全国47都道府県、約330か所の施設をシンボルカラーの紫色にライトアップするキャンペーンが展開されています。

枚方市では初めてこのキャンペーンに参加。令和3年(2021年)11月12日、19日、25日の3日間、夕刻からニッパーク岡東中央(岡東中央公園)にある平和の鐘カリヨン「ヒラリヨン」をパープルライトアップしました。宵闇の中、ヒラリヨンが紫色に染まり、女性に対するあらゆる暴力の根絶を広く呼びかけるとともに、被害者に対して「あなたはひとりではない。」と励ますメッセージを込めました。運動リーフレットや相談窓口案内なども配布し、啓発活動も実施しました。

「自分さえ我慢すれば。」と頑張っている方へ、ひとりで悩んでいる方へ、相談できる窓口がありますので、ぜひご利用ください。



枚方市配偶者暴力相談支援センター「ひらかたDV相談室」
072-841-3134(専用電話) 072-846-7813(専用FAX)
平日 午前9時～午後5時30分

ウィル図書コーナーから 『法律』を、あなたが自分らしく生きるための道具にしよう...



おとめ六法
上谷さくら、岸本学(KADOKAWA)

著者が弁護士として相談を受ける中で、女性が遭遇することの多いトラブルを恋愛、SNS・インターネット、学校など、シーン、そしてライフステージごとにまとめた法律の本。「わたしが悪い」と思い込んで泣き寝入りしたり、自分を貶めて心の傷を広げてしまわないよう、役立つ法律を知っておきたい。自分らしく生きていきたい「おとめたち」にエールを送る書。



LGBTsの法律問題 Q&A
大阪弁護士会(弁護士会館ブックセンター出版部LABO)

LGBTをめぐる社会状況はめまぐるしく変化しています。個人の性的指向や性自認は、その人の生き方や個人の尊厳に関わることです。LGBTの当事者が直面する法律上の諸問題を弁護士がQ&A方式で解説。セクシュアル・マイノリティの人権を保障する立場から、パートナーシップ・家族・子ども・医療・労働・社会保障等について、現状での課題と解決策を取りまとめた書。

..... どうぞお気軽に図書コーナーへお立ち寄りください。

ウィルの図書・DVDは、枚方市在住・在勤・在学の方ならどなたでも無料で借りることができます。ウィル図書カードがあれば一度に3冊まで(DVDは2点まで)2週間貸し出ししています。

ウィル図書カードを作るには

- ◆住所(枚方市在住でない場合は、通学先・勤務先も)が確認できる免許証、保険証等のご提示をお願いします。
- ◆「男女共生フロア・ウィル図書カード登録票」にご記入していただくだけで図書カードを即日発行、その日から図書やDVDを借りていただけます。

枚方市人権政策室 2021年度実施講座

実施日	講座
8月6日(金)	ウィルdeシネマ 「his」
9月11日(土)	ひとり芝居 ～旅立ちの詩 彼女たちの羅針盤
12月9日(木)	夫婦関係講座 ～夫の言い分 妻の言い分 このズレどうしたらいいの？

女性のための基礎から学ぶ起業セミナー

- ①1月17日(月) ①「起業の心構えと事例」
②1月24日(月) ②「起業に必要なお金の話」

前向きに離婚を考えるママのための連続講座

- ①3月8日(火) ①知っていてソンはない・離婚とお金のリアルな情報
②3月9日(水) ②離婚後の住まいの不安を解消!
③3月18日(金) ③離婚と面会交流・養育費に関する法律知識

講座動画配信 + 上映会

配信期間

2月22日～28日

上映会

2月25日(金)

男女共同参画週間事業

～パパになった旦那よ、ママの本音を聞け!

女性のための健康講座

配信期間

2月1日～3月15日

上映会

3月7日(月)

①思春期女子の月経トラブル解決法

②働く女子の不調と健康管理

③ツライ更年期の乗り越え方

④すこやかなポスト更年期を過ごすために

定例交流会等

4月20日(火)	LGBTコミュニティスペース
7月3日(土)	シングルマザーズ・カフェ(交流会) マッサージ体験付
7月20日(火)	LGBTコミュニティスペース
8月17日(火)	LGBTコミュニティスペース
9月21日(火)	LGBTコミュニティスペース
10月19日(火)	LGBTコミュニティスペース
11月10日(水)	ひとり親制度説明会とシングルマザーズ・カフェ(交流会)
11月16日(火)	LGBTコミュニティスペース
12月4日(土)	シングルマザーズ・カフェ(交流会) 子育てミニ講座付
12月21日(火)	LGBTコミュニティスペース
1月18日(火)	LGBTコミュニティスペース
2月15日(火)	LGBTコミュニティスペース
3月15日(火)	LGBTコミュニティスペース

予定されていた以下の定例交流会は、新型コロナウイルス感染拡大防止等のため中止となりました。

シングルマザーズ・カフェ 5月12日(水)、6月5日(土)、3月5日(土)

LGBTコミュニティスペース 5月18日(火)、6月15日(火)

※恒例のイベント「ウィル・フェスタ2021」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

表紙・本文イラスト/タツミカオ(絵本作家)



《編集後記》

性別にかかわらず誰もがいきいきと自分らしく暮らせる社会の実現に向けて、男女共生フロア・ウィルでは様々な取り組みを市民の皆さんと一緒に進めています。

コロナ禍も三年目となり、これまでのようには講座やフェスタの開催ができない日々が続いています。「人が集まること」にリスクが伴う現実には厳しいものがありますが、情報の発信やコミュニケーションのあり方について、既存の方法にとらわれず、多様な可能性を探る良い機会でもあると感じています。

今年度は一部の講座を動画で配信する傍ら、手話通訳や要約筆記付きの動画上映会を企画するなど、新たな試みも行いました。

今後も、ウィルでは各種啓発講座や本誌「モア・エイム」などの発行を通じて、男女共同参画をより多くの方に身近に感じていただけるよう取り組んでまいります。これからも男女共生フロア・ウィルをよろしく願いいたします。

2022年度女性のための相談案内 (祝日及び年末年始を除く)

面接相談

女性が抱える様々な悩みを受け止め、自分自身の力で次へ進めるように女性相談員がサポートします。

● 要予約 1回50分

相談日

水曜日 午後1時～4時10分
木曜日 午後2時50分～7時30分
金曜日 午前10時～午後3時

電話相談 専用電話 072-843-7860

女性が抱える様々な悩みについて電話で相談できます。女性相談員が対応します。

● 予約不要 受付は終了時間の20分前まで

相談日

火曜日 午後3時～8時
水曜日 午後1時～5時
木曜日 午前10時～午後3時

法律相談

離婚問題、家族間のトラブル、相続など女性が抱える法律上の問題について女性弁護士が相談に応じます。

● 要予約 30分(1年度につき1回限り)

相談日

第1土曜日・第4火曜日
午前10時20分～午後0時50分
第2金曜日 午後1時20分～3時50分
第3木曜日 午後5時20分～7時50分

その他の相談案内(祝日及び年末年始を除く)

LGBT電話相談 072-843-5730

性的マイノリティの当事者や家族などが抱える様々な悩みについて電話で相談できます。

専門の相談員が対応します。

● 予約不要 受付は終了時間の20分前まで

相談日

第1木曜日 午後3時～午後8時

男性のための電話相談 072-843-5730

男性が抱える様々な悩みについて電話で相談できます。男性相談員が対応します。

● 予約不要 受付は終了時間の20分前まで

相談日

第1土曜日 午後2時～午後5時
第4木曜日 午後6時～午後8時

《予約・お問い合わせ》

枚方市男女共生フロア・ウィル

(ひらかたサンプラザ3号館4階)

TEL 072-843-5636 FAX 072-843-5637

●平日・第1土曜日/午前9時～午後5時30分

※ただし、火・木曜日は午後8時まで

●休所日/第1土曜日を除く土・日・祝日・年末年始